

湖南省障がい者の支援に関する基本計画策定のための

# 障がい者福祉に関するアンケート調査 【前回・前々回調査との比較】

令和2年10月

湖 南 市

## 目次

18 歳未満の障がい児の保護者	前回・前々回調査との比較	
1.	発達上の特徴について	1
2.	相談・情報について	4
3.	介護や将来の生活の不安について	5
4.	地域との関わりや差別経験について	6
5.	障がい者福祉施策の評価	10
18 歳以上の障がい者	前回・前々回調査との比較	
1.	本人の基本属性	11
2.	障害者手帳の状況について	12
3.	仕事の状況について	13
4.	介護や将来の生活の不安について	15
5.	地域との関わりや差別経験について	16
6.	障がい者福祉施策の評価	19
一般市民	前回調査との比較	
1.	障がい者に関する意識や考えについて	20
2.	障がい者とのふれあいについて	21

# 18歳未満の障がい児の保護者

## 前回・前々回調査との比較

### 1. 発達上の特徴について

#### 問5 発達や障がいを最初に心配した年齢 (1つだけ選択)

ご本人の発達の特徴や障がいのことを最初に心配されたのはご本人がいくつの時ですか。

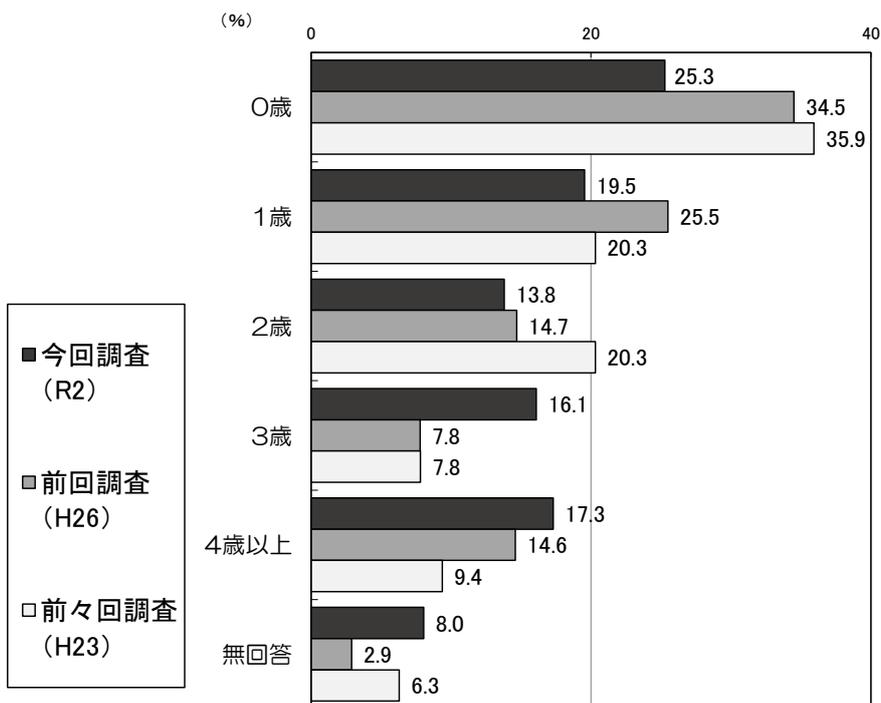
今回調査 (R2) 全体数=87

前回調査 (H26) 全体数=102

前々回調査 (H23) 全体数=64

#### 【前回・前々回調査との比較】

「0歳」での割合が、調査回数を経るごとに減ってきています。一方で、「3歳」「4歳以上」での割合は増えてきています。



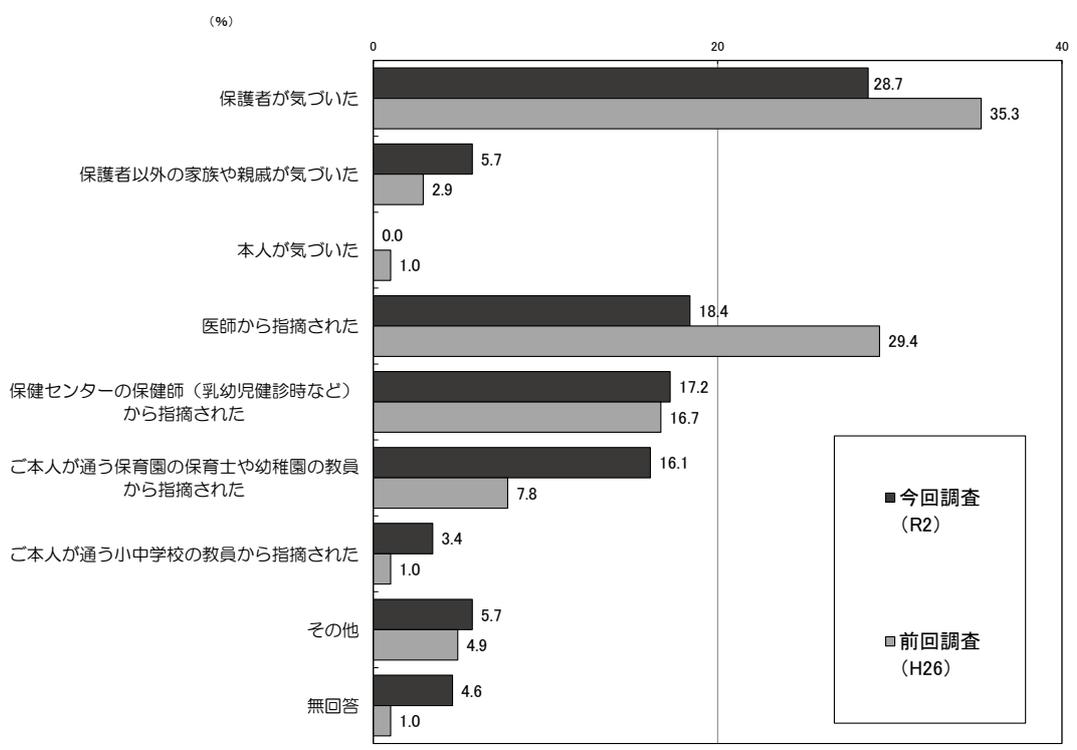
問6 発達や障がいを感じたきっかけ (1つだけ選択)

ご本人の発達の特徴や障がいのことに最初に気づいたきっかけは何ですか。

今回調査 (R2) 全体数=87  
 前回調査 (H26) 全体数=102

【前回調査との比較】

「医師から指摘された」が 11.0 ポイント、「保護者が気づいた」が 6.6 ポイント低くなり、「ご本人が通う保育園の保育士や幼稚園の教員から指摘された」が 8.3 ポイント高くなっています。



## 問8 1ヶ月以内に専門機関に相談しなかった理由 (いくつでも選択可)

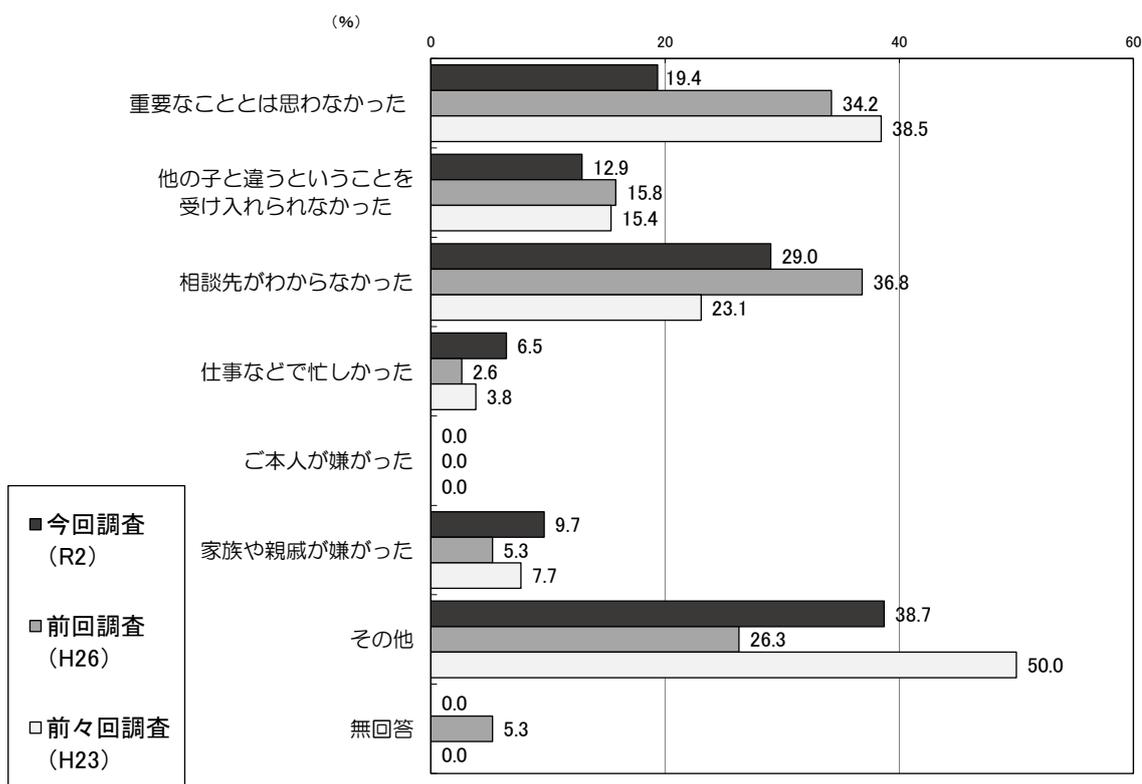
問7で、2または3と答えた方におたずねします。1ヶ月以内に専門機関に相談しなかった理由で、あてはまる番号に○をつけてください。

今回調査 (R2) 全体数=31  
 前回調査 (H26) 全体数=38  
 前々回調査 (H23) 全体数=26

### 【前回・前々回調査との比較】

「重要なこととは思わなかった」は、前回と比較すると 14.8 ポイント、前々回と比較すると 19.1 ポイント低くなっています。

「相談先がわからなかった」は、前回と比較すると 7.8 ポイント低くなっています。



## 2. 相談・情報について

### 問 22-ア 情報の入手方法 (いくつでも選択可)

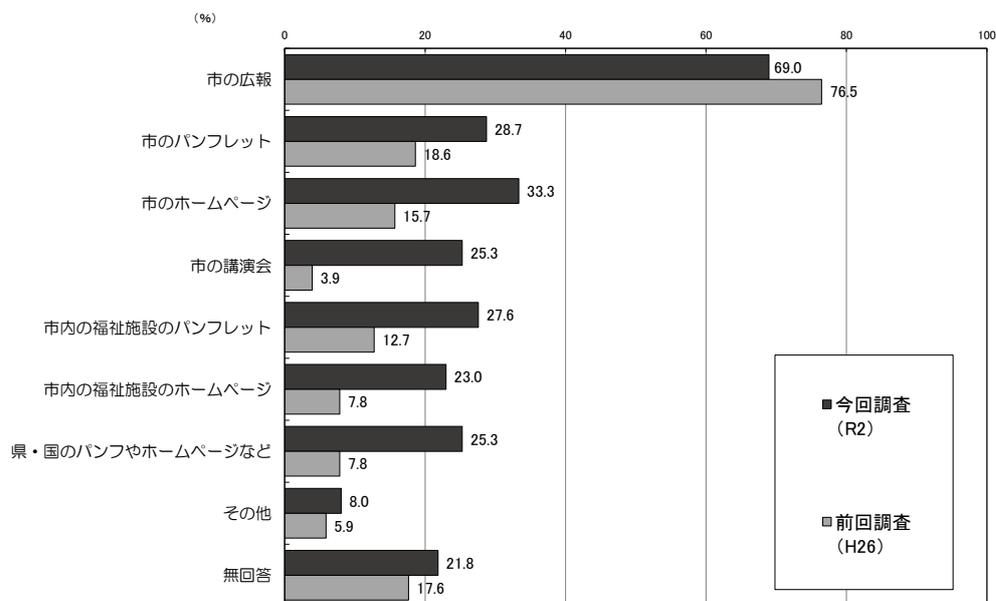
あなたは相談のほかに、必要な情報を得るために次のような方法を利用しますか。利用するものに○をつけてください。

今回調査 (R2) 全体数=87

前回調査 (H26) 全体数=102

#### 【前回調査との比較】

前回と比較して、「市の広報」以外のすべての項目において、利用すると答えた人の割合が伸び、2割を超える数値となりました。



### 3. 介護や将来の生活の不安について

#### 問 34 将来の生活で不安となること (いくつでも選択可)

ご本人の将来の生活について、不安となる項目はどのようなことですか。

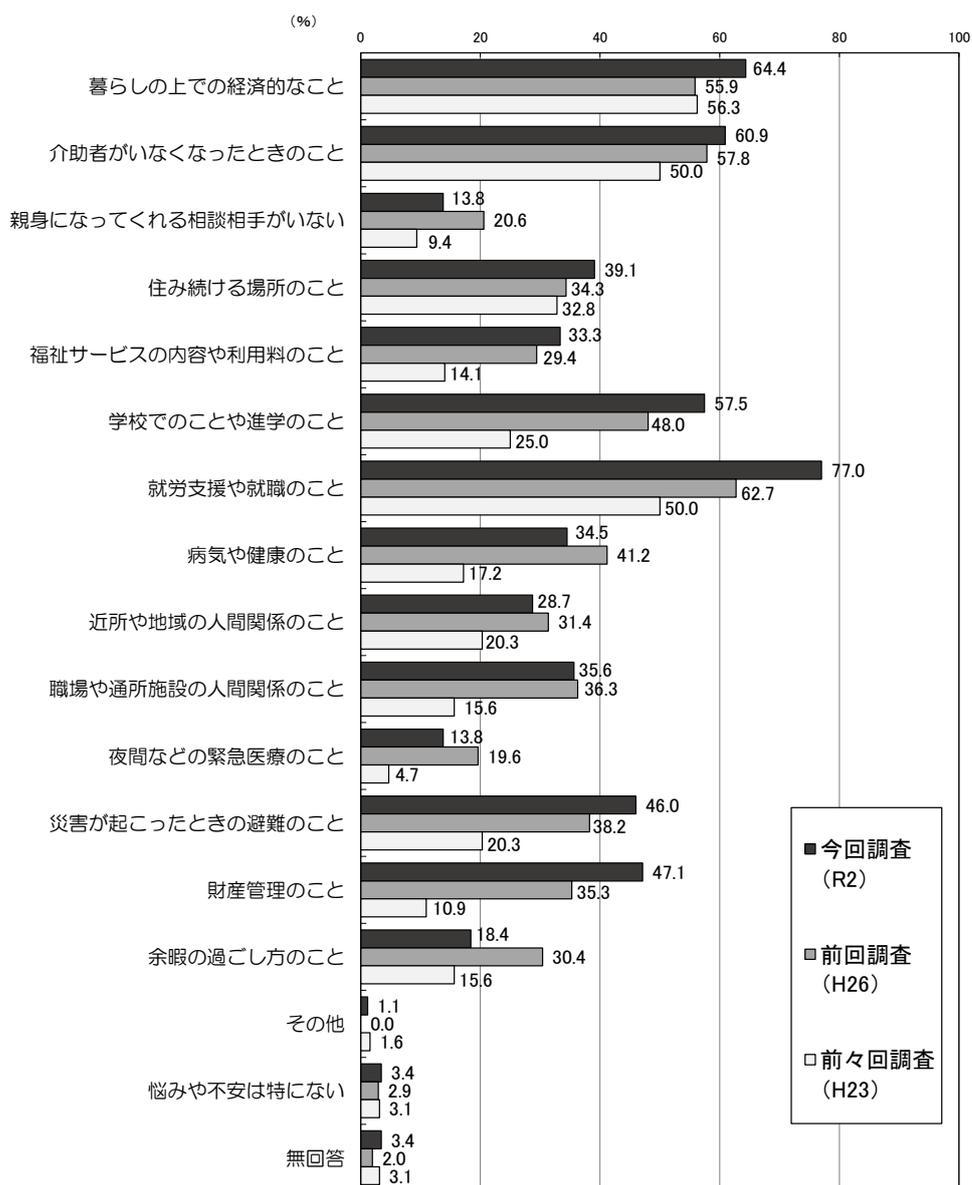
今回調査 (R2) 全体数=87

前回調査 (H26) 全体数=102

前々回調査 (H23) 全体数=64

#### 【前回・前々回調査との比較】

前回・前々回と比較して、全般的に割合が伸びています。「就労支援や就職のこと」では、前回と比較して 14.3 ポイント高くなり、それを不安に感じる人が8割に迫っています。ほかには、前回と比較して、「財産管理のこと」では 11.8 ポイント、「学校でのことや進学のこと」では 9.5 ポイント、「暮らしの上での経済的なこと」では 8.5 ポイント、「災害が起こった時の避難のこと」では 7.8 ポイント高くなっています。(※前々回調査では4つまで選択)



## 4. 地域との関りや差別経験について

### 問 35 近所づきあい (1つだけ選択)

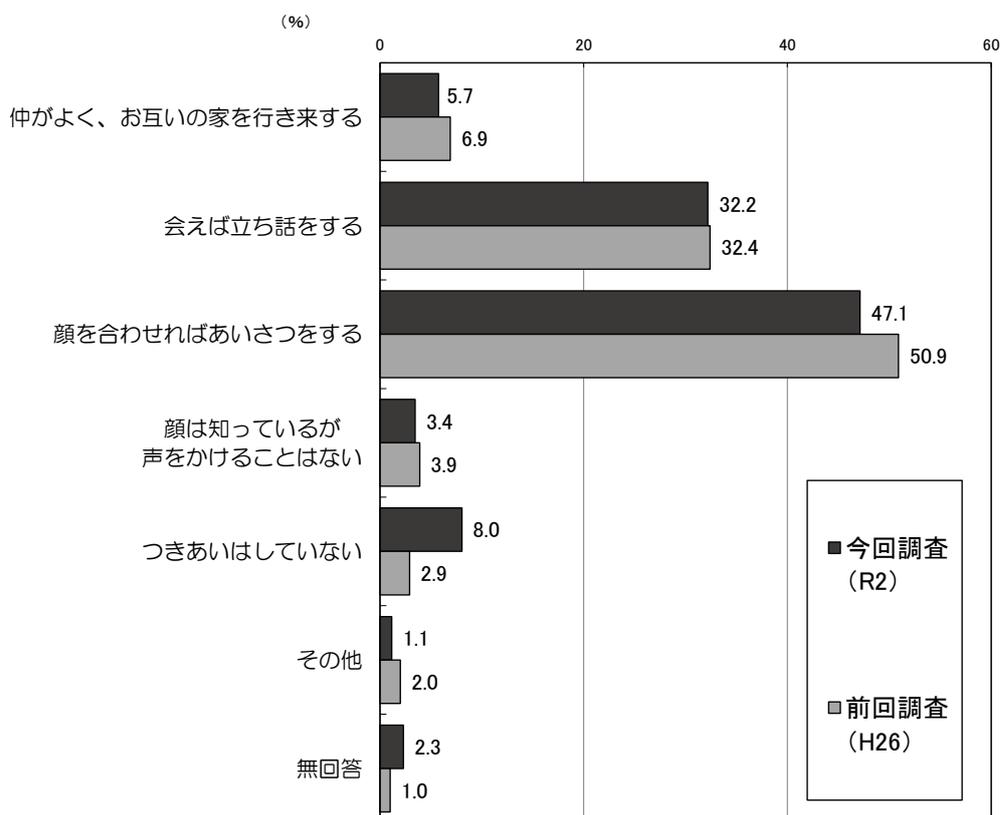
あなたは隣近所の方と、どの程度のおつきあいをしていますか。

今回調査 (R2) 全体数=87

前回調査 (H26) 全体数=102

#### 【前回調査との比較】

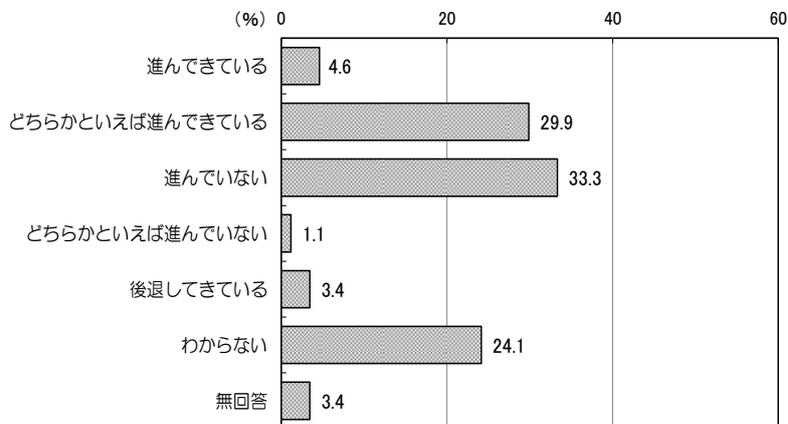
前回と比較して、「仲がよく、お互いの家を行き来する」「会えば立ち話をする」「顔を合わせればあいさつをする」等の項目で低くなり、「つきあいはしていない」においては 5.1 ポイント高くなりました。



問 36 「障がい」に対する市民の理解 (1つだけ選択)

あなたは、「障がい」に対して、広く市民の理解が進んできていると思いますか。

(n = 87)



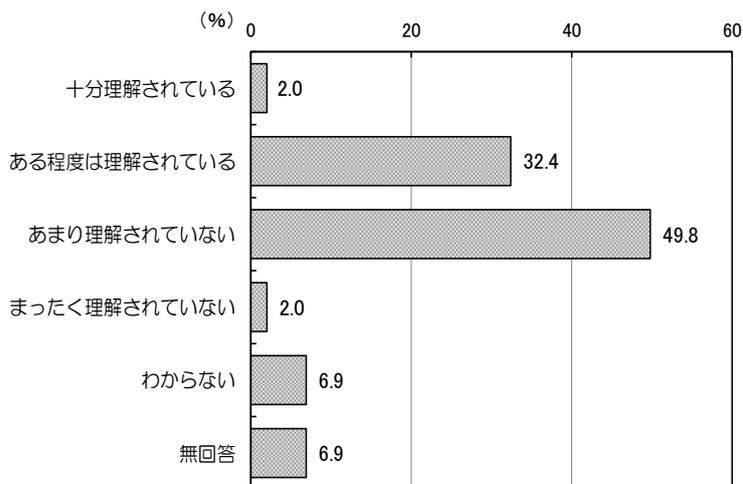
【前回調査との比較】

設問形式が異なりますが、前回調査では以下の設問が設けられていました。

問 36 障がい者は周りに十分理解されていると思うか (1つだけ選択)

障がい者は周りの人々に、十分理解されていると思いますか。あてはまる番号に○をつけてください。

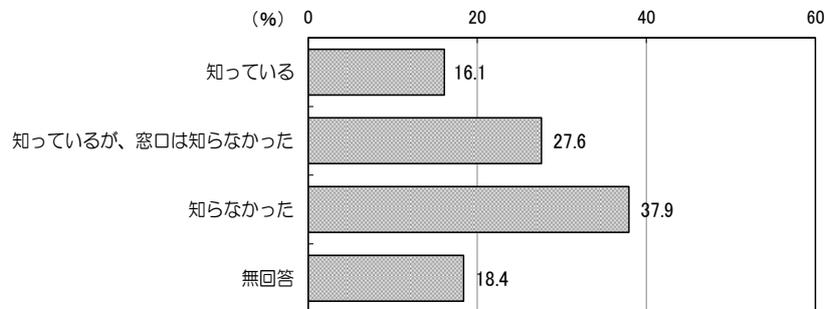
(n = 102)



### 問 41 障害者虐待防止法を知っているか (1つだけ選択)

平成 24 年 10 月 1 日から障害者虐待防止法が施行され、障がいのある人への虐待を発見した場合、市役所などへの通報義務がありますが、その制度について知っていますか。

(n = 87)



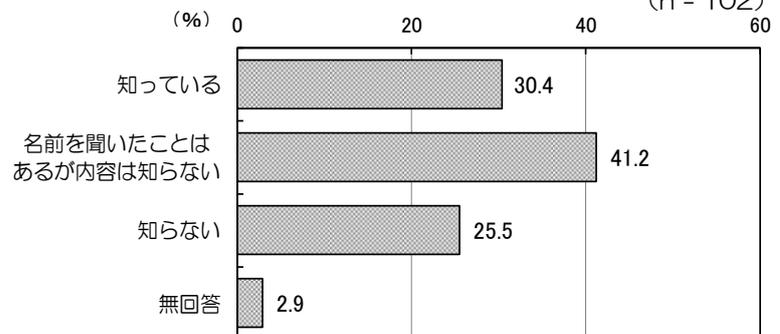
#### 【前回調査との比較】

設問形式が異なりますが、前回調査では以下の設問が設けられていました。

### 問 37 障害者虐待防止法を知っているか (1つだけ選択)

あなたは「障害者虐待防止法」を知っていますか。

(n = 102)



## 問 42 湖南省障がい者虐待防止センターを知っているか (1つだけ選択)

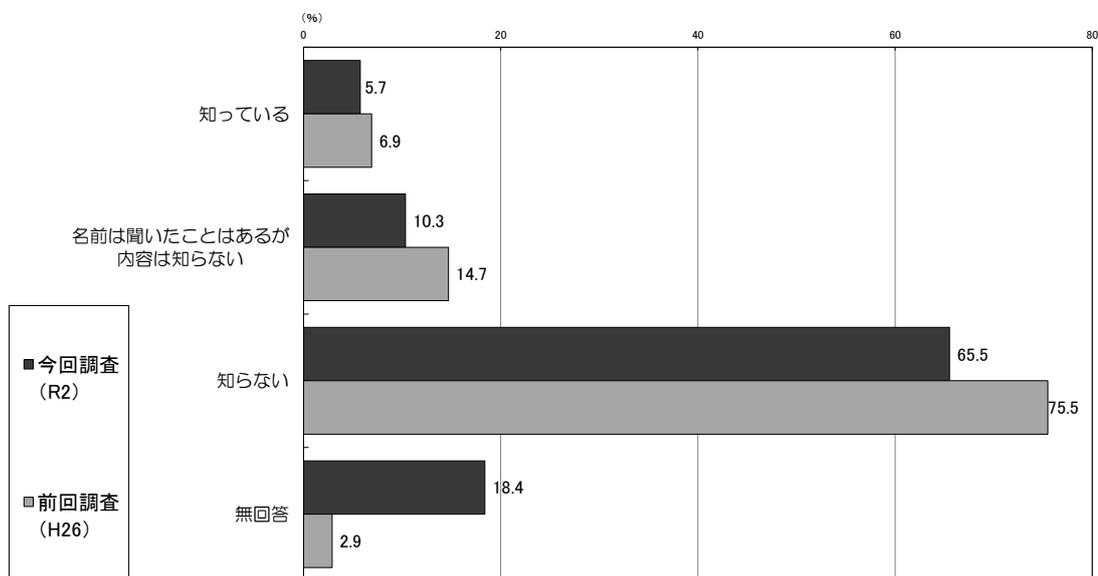
湖南省では、障がいのある人への虐待に関する相談窓口として湖南省障がい者虐待防止センターを設置していますが、あなたはこのことを知っていますか。

今回調査 (R2) 全体数=87

前回調査 (H26) 全体数=102

### 【前回調査との比較】

「知っている」「名前は聞いたことがあるが内容は知らない」が減っていますが、「知らない」と答えた人の割合が、10.0ポイント減っています。



## 5. 障がい者福祉施策の評価

### 問 46-ア 市の施策や取り組みに対する満足度 (それぞれ1つだけ選択)

市では障がい者へのさまざまな事業をおこなっていますが、市の施策や取り組みに対する評価（ア.満足度、イ.重要度）についておたずねします。

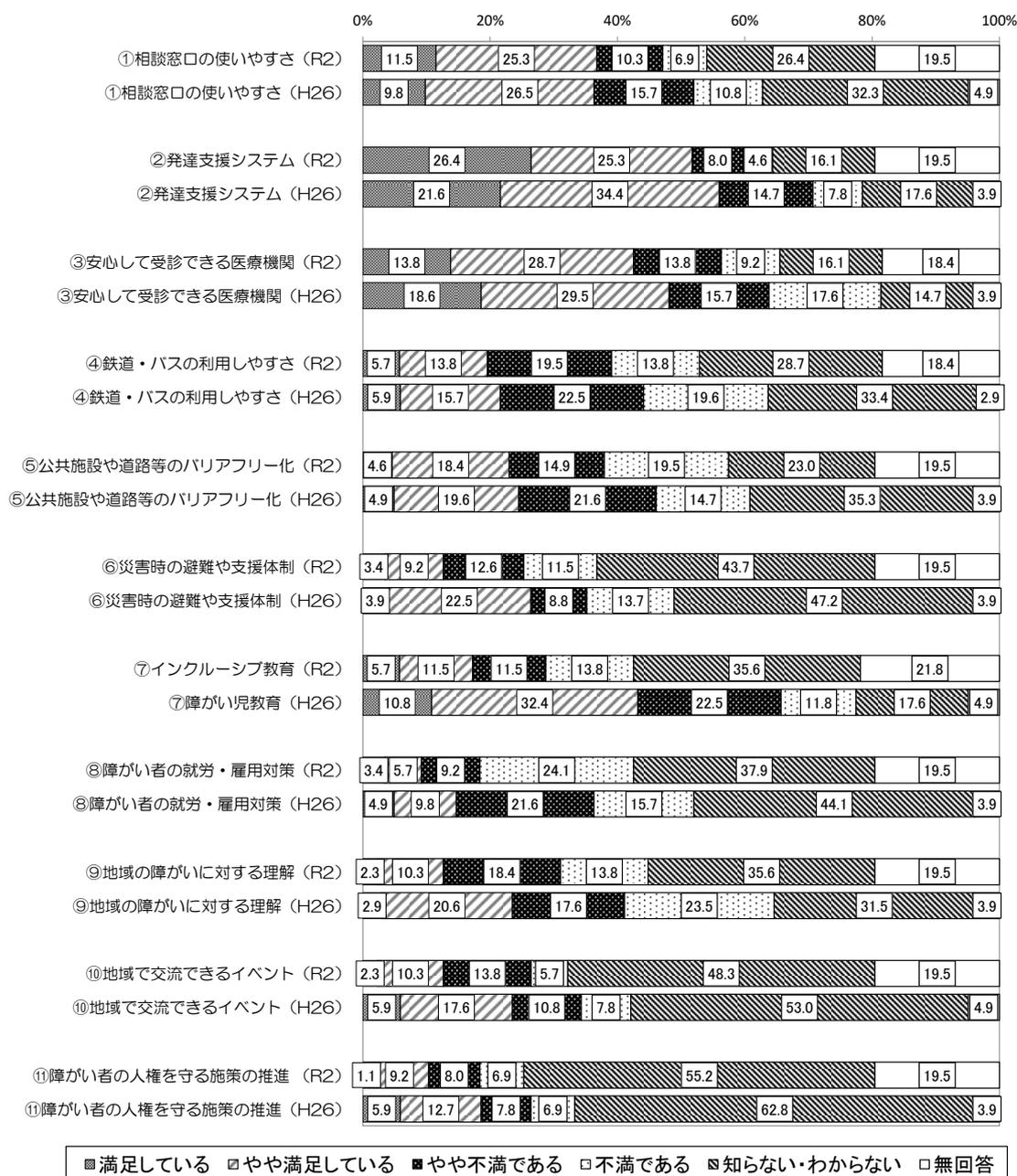
ア 各項目の現状についてどの程度満足していますか。それぞれの項目についてあてはまる番号に○をつけてください。

今回調査（R2）全体数＝87

前回調査（H26）全体数＝102

#### 【前回調査との比較】

「相談窓口の使いやすさ」と「発達支援システム」については、「満足している」と答えた人の割合は伸びている一方で、その他の項目に関しては、横ばいか減っています。（※前回調査では⑦障がい児教育と表記していました）



# 18歳以上の障がい者 前回・前々回調査との比較

## 1. 本人の基本属性

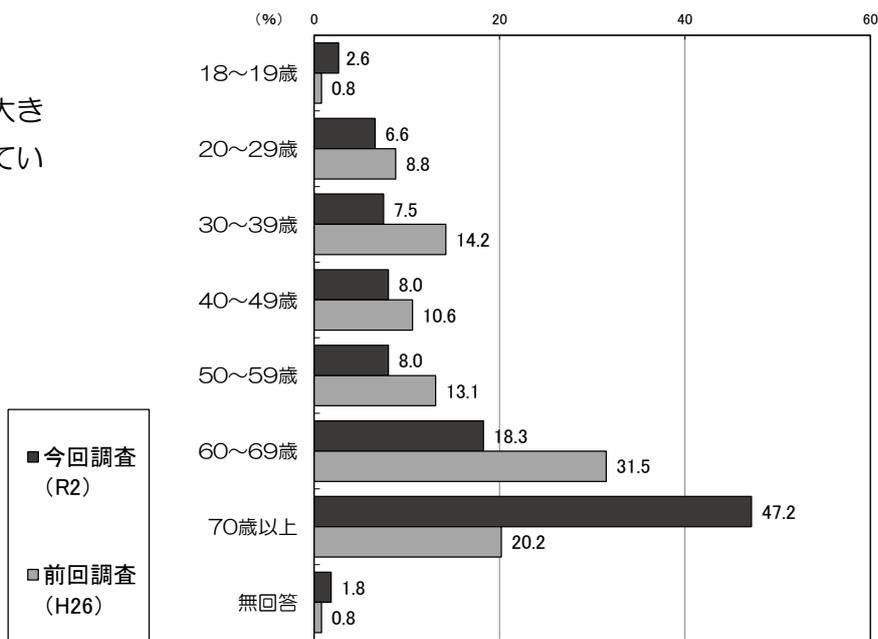
### 問1 年齢 (1つだけ選択)

今回調査 (R2) 全体数=761

前回調査 (H26) 全体数=639

#### 【前回調査との比較】

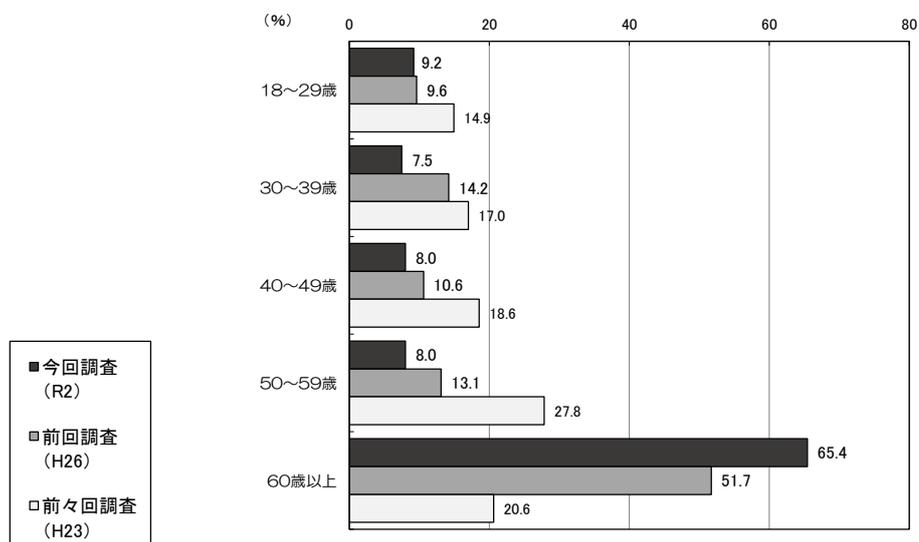
「70歳以上」の方の割合が大きく伸び、27.0ポイント高くなっています。



※今回調査の年齢構成比については、抽出の仕方に年齢の偏りはなく、アンケート結果に見られた年齢の構成比率が、湖南省のすべての18歳以上の障がい者の年齢構成比率とほぼ同じであったことから、このアンケートの内容は湖南省の現状を反映しているといえます。

※前々回調査では、対象を18歳から65歳未満としていたため、比較することができませんでしたが、前々回調査の選択肢に合わせて作成した年齢のグラフを、ご参考までに以下にあげます。

また、これ以降の設問についても、単純に比較はできませんが、前々回・前回・今回調査で同じ設問があれば、前々回調査のデータを同一のグラフに追加しています。



前々回調査は18～65歳未満で実施

## 2. 障害者手帳の状況について

### 問9 障害者手帳をはじめて交付された時期 (1つだけ選択)

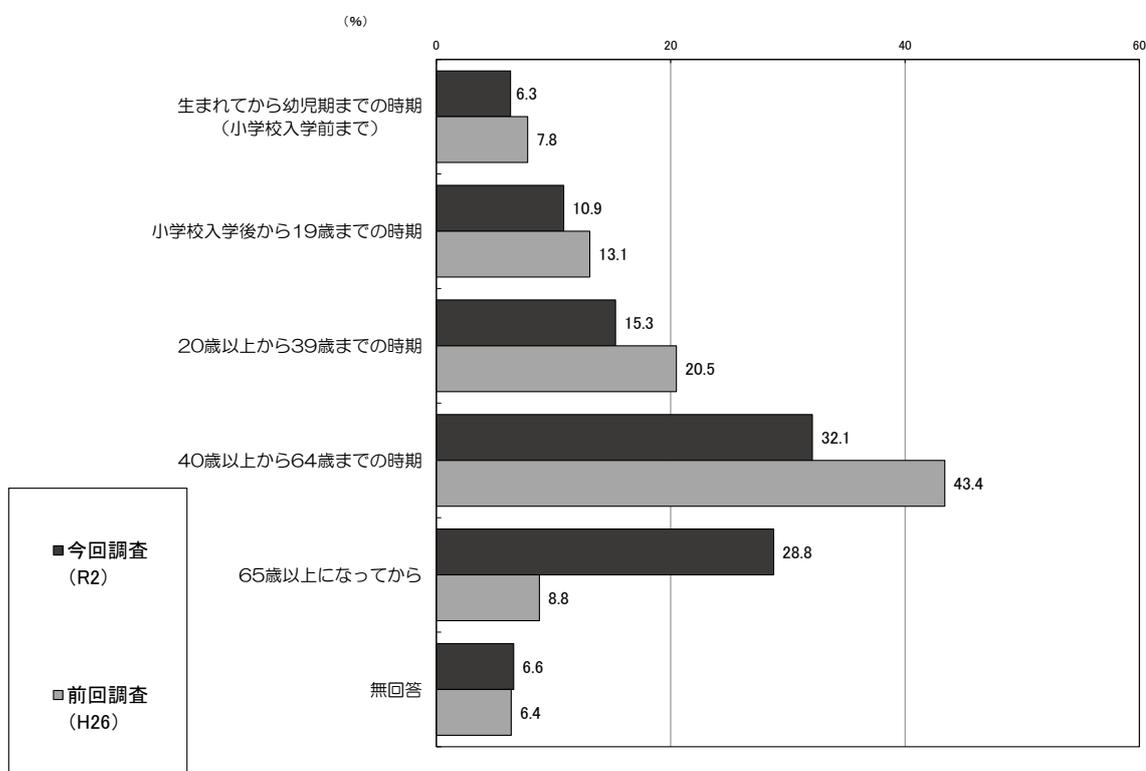
障害者手帳をはじめて交付されたのはいつですか。

今回調査 (R2) 全体数=761

前回調査 (H26) 全体数=639

#### 【前回調査との比較】

「65歳以上になってから」障害者手帳をはじめて交付されたと答えた人の割合が、前回と比較して20.0ポイント高くなっています。



### 3. 仕事の状況について

#### 問 15① 就労について (1つだけ選択)

あなたはどのような形で働いていますか。あてはまるものの番号(1～4)の1つに○をつけてください。

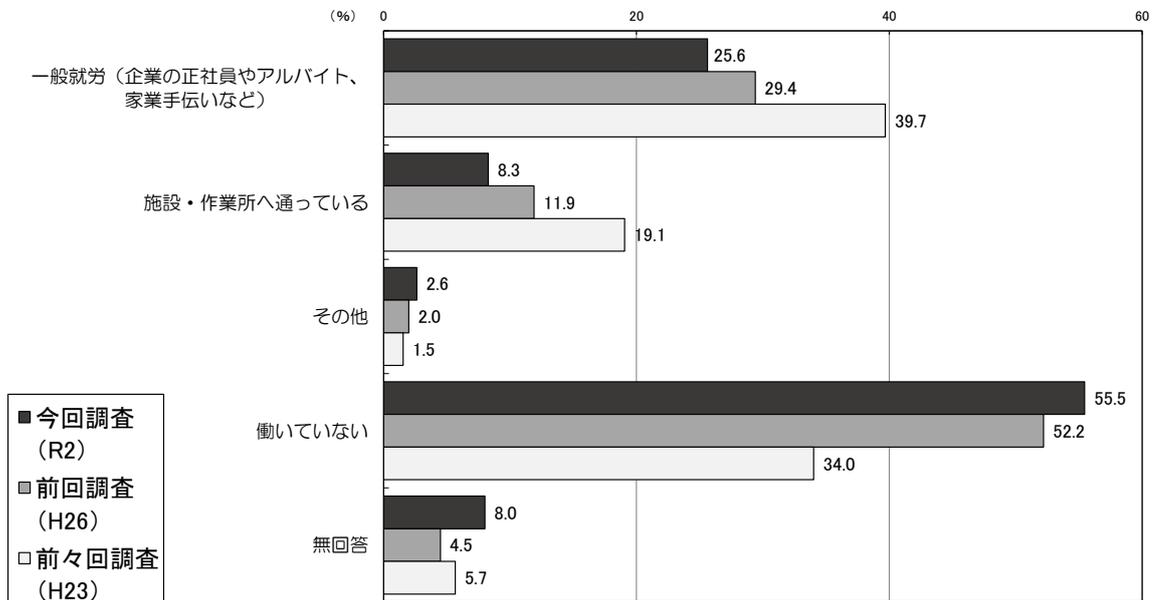
今回調査 (R2) 全体数=761

前回調査 (H26) 全体数=639

前々回調査 (H23) 全体数=194

#### 【前回・前々回調査との比較】

「働いていない」と答えた人の割合は、調査を経るごとに高くなってきています。



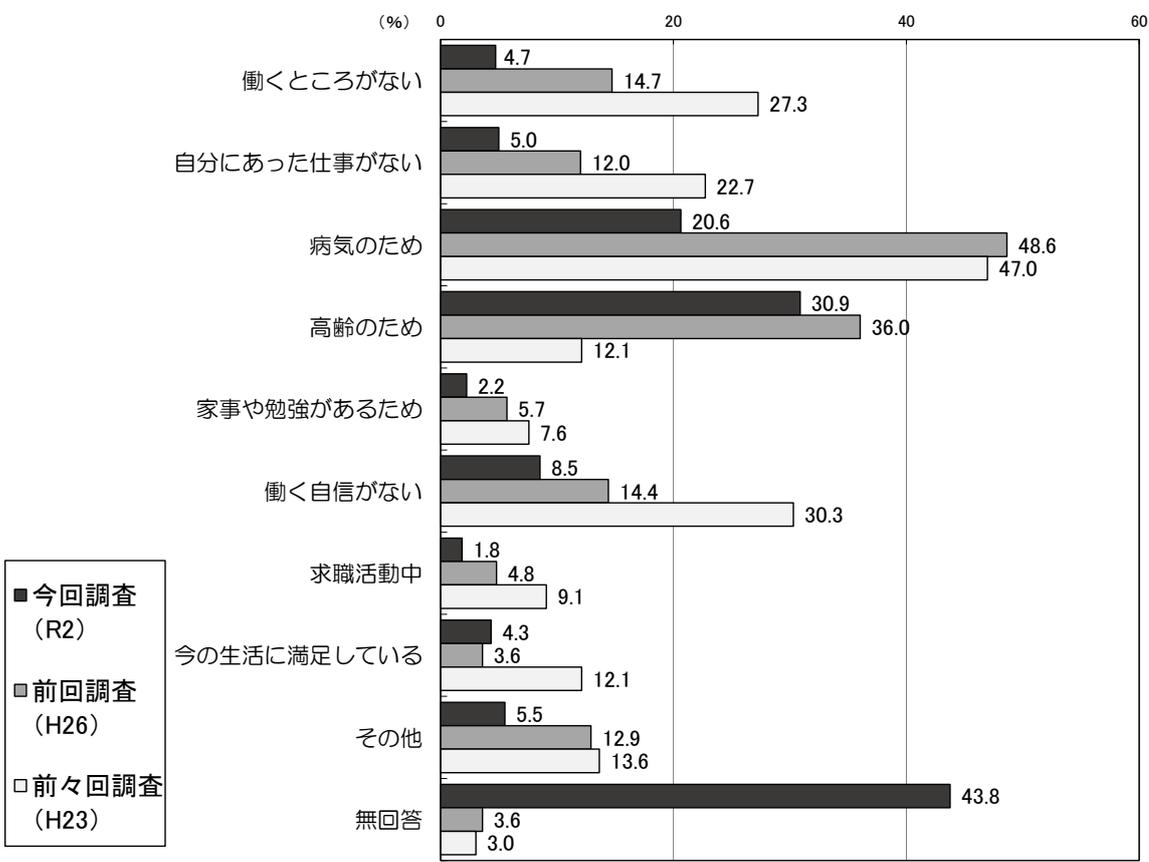
問 15③ (働いていない方) 働いていない理由 (いくつでも選択可)

「4 働いていない」を選んだ方におたずねします。働いていないのは、なぜですか。

今回調査 (R2) 全体数=422  
 前回調査 (H26) 全体数=333  
 前々回調査 (H23) 全体数=66

【前回・前々回調査との比較】

前回調査と比較して、「病気のため」は 28.0 ポイント、「働くところがない」は 10.0 ポイント、「自分に合った仕事がない」は 7.0 ポイント低くなっています。



## 4. 介護や将来の生活の不安について

### 問 38 将来の生活で不安となること (いくつでも選択可)

あなたの将来の生活について、不安となる項目はどのようなことですか。

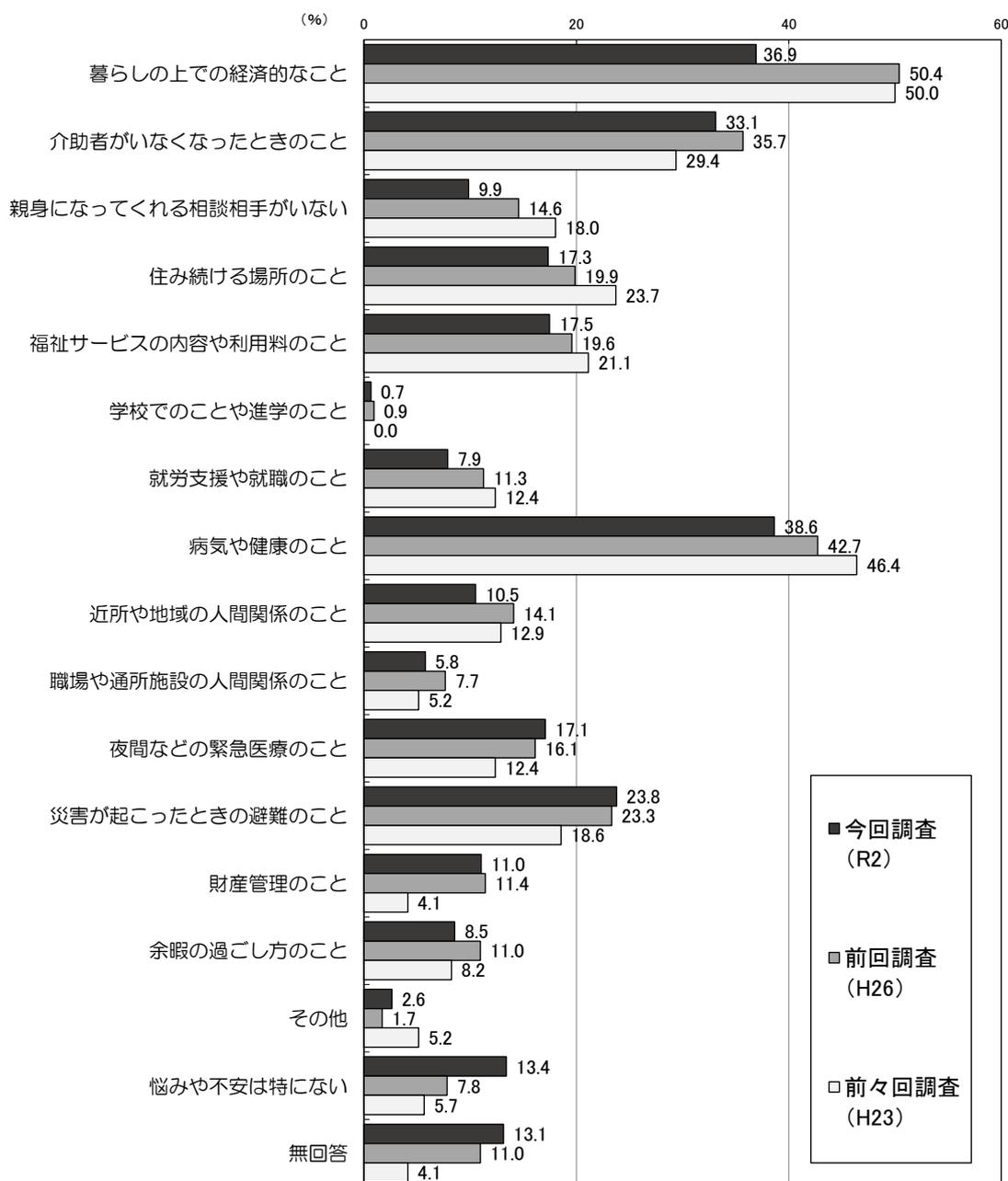
今回調査 (R2) 全体数=761

前回調査 (H26) 全体数=639

前々回調査 (H23) 全体数=194

#### 【前回・前々回調査との比較】

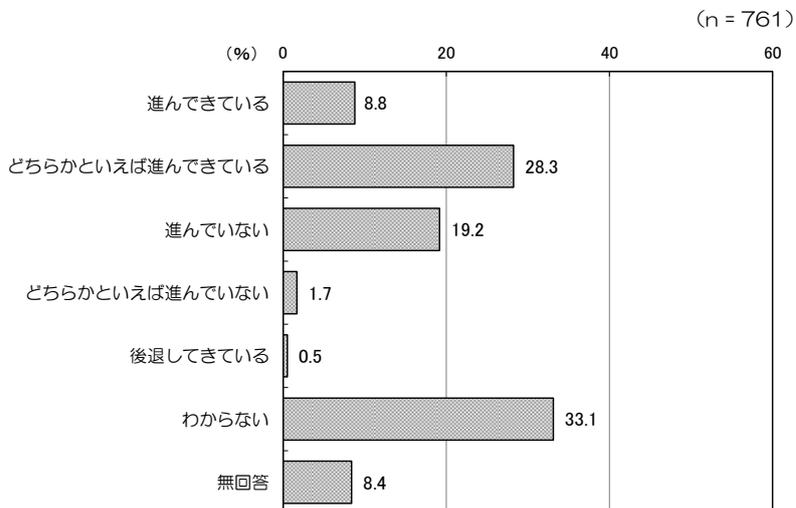
「将来の生活で不安になること」で割合が高くなってきているものとして、「夜間などの緊急医療のこと」、「災害が起こったときの避難のこと」、「悩みや不安は特にない」をあげることができます。



## 5. 地域との関わりや差別経験について

### 問 44 「障がい」に対する市民の理解 (1つだけ選択)

あなたは、「障がい」に対して、広く市民の理解が進んできていると思いますか。

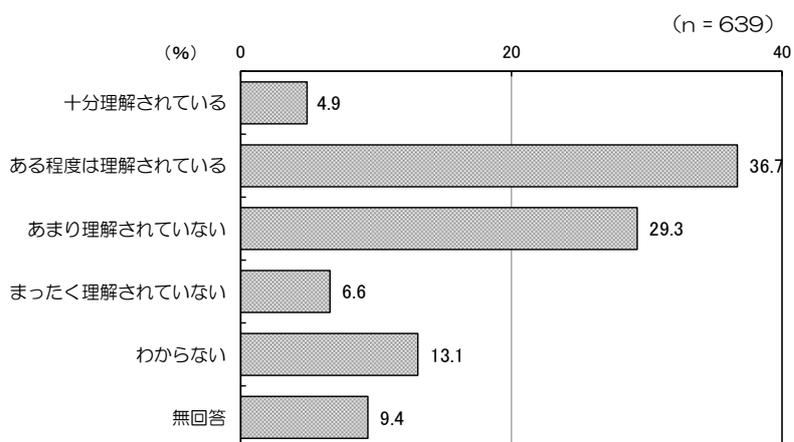


#### 【前回調査との比較】

設問形式が異なりますが、前回調査では以下の設問が設けられていました。

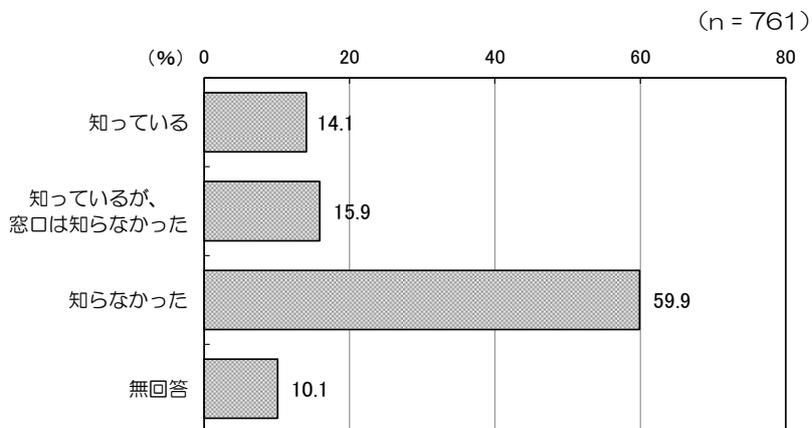
### 問 40 障がい者は周りに十分理解されていると思うか (1つだけ選択)

障がい者は周りの人々に、十分理解されていると思いますか。あてはまる番号に○をつけてください。



### 問 49 障害者虐待防止法を知っているか (1つだけ選択)

平成 24 年 10 月 1 日から障害者虐待防止法が施行され、障がいのある人への虐待を発見した場合、市役所などへの通報義務がありますが、その制度について知っていますか。

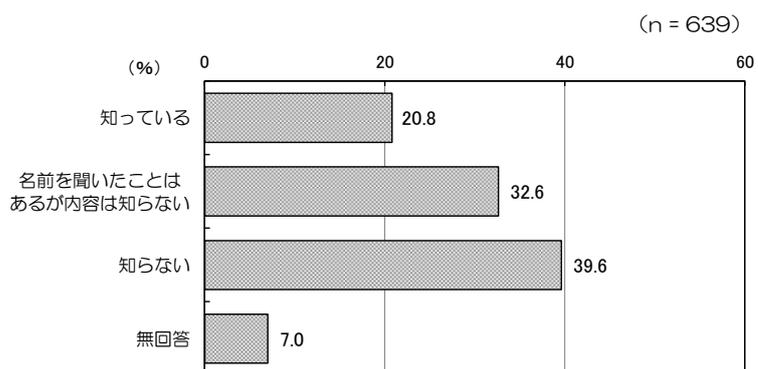


#### 【前回調査との比較】

設問形式が異なりますが、前回調査では以下の設問が設けられていました。

### 問 41 障害者虐待防止法を知っているか (1つだけ選択)

あなたは「障害者虐待防止法」を知っていますか。



## 問 50 湖南省障がい者虐待防止センターを知っているか (1つだけ選択)

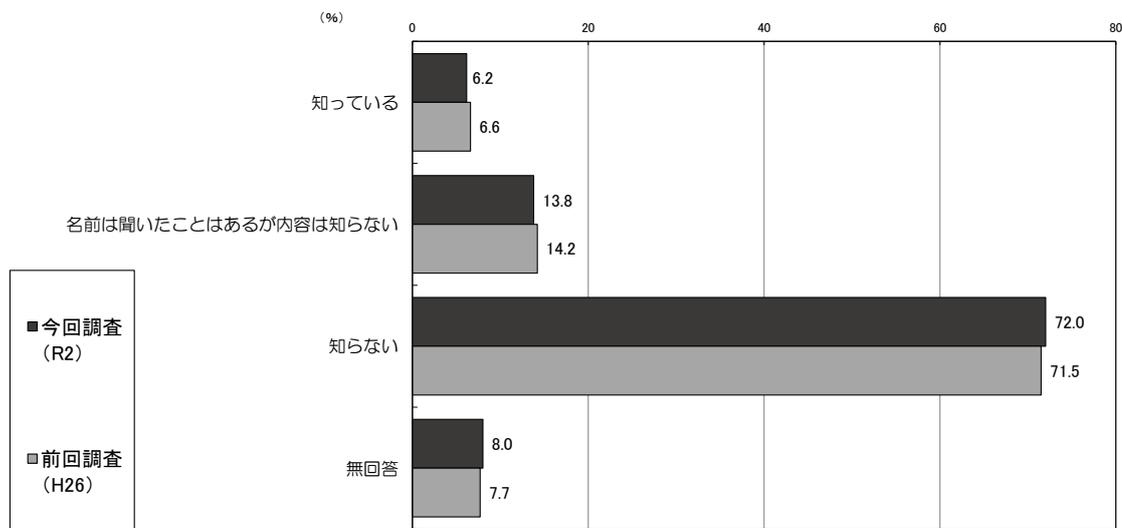
湖南省では、障がいのある人への虐待に関する相談窓口として湖南省障がい者虐待防止センターを設置していますが、あなたはこのことを知っていますか。

今回調査 (R2) 全体数=761

前回調査 (H26) 全体数=639

### 【前回調査との比較】

すべての項目において、ほとんど違いは見られません。



## 6. 障がい者福祉施策の評価

### 問 54-ア 市の施策や取り組みに対する満足度 (それぞれ1つだけ選択)

市では障がい者へのさまざまな事業をおこなっていますが、市の施策や取り組みに対する評価（ア.満足度、イ.重要度）についておたずねします。

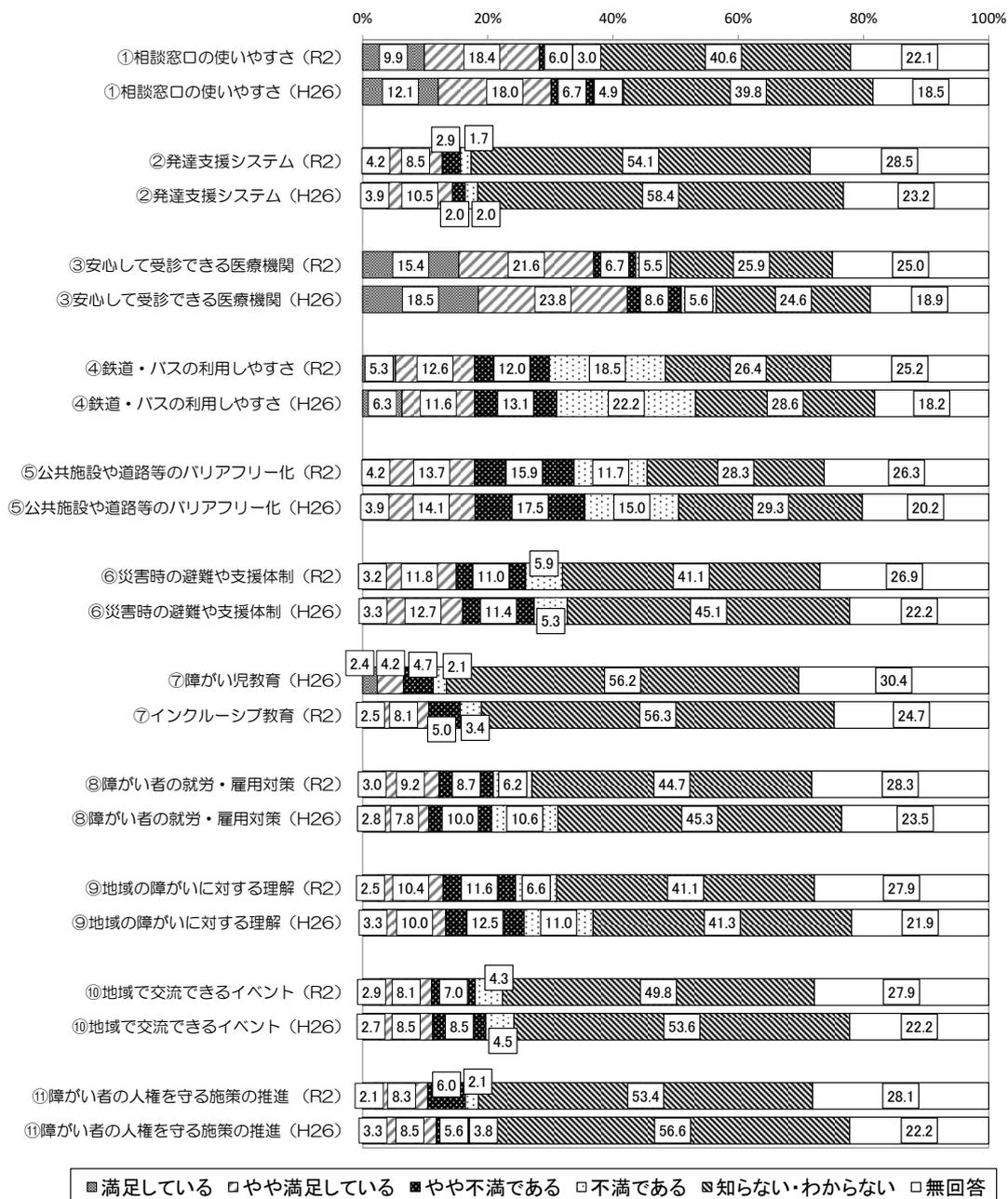
ア 各項目の現状についてどの程度満足していますか。それぞれの項目についてあてはまる番号に○をつけてください。

今回調査 (R2) 全体数=761

前回調査 (H26) 全体数=639

#### 【前回調査との比較】

全般的に「満足している」と答えた人の割合は横ばいか減っています。(※前回調査では⑦障がい児教育と表記していました)



# 一般市民 前回調査との比較

※前々回（H23）は一般市民に対してのアンケート調査は行っていません。

## 1. 障がい者に関する意識や考えについて

### 問 10 ノーマライゼーションの理念について （1つだけ選択）

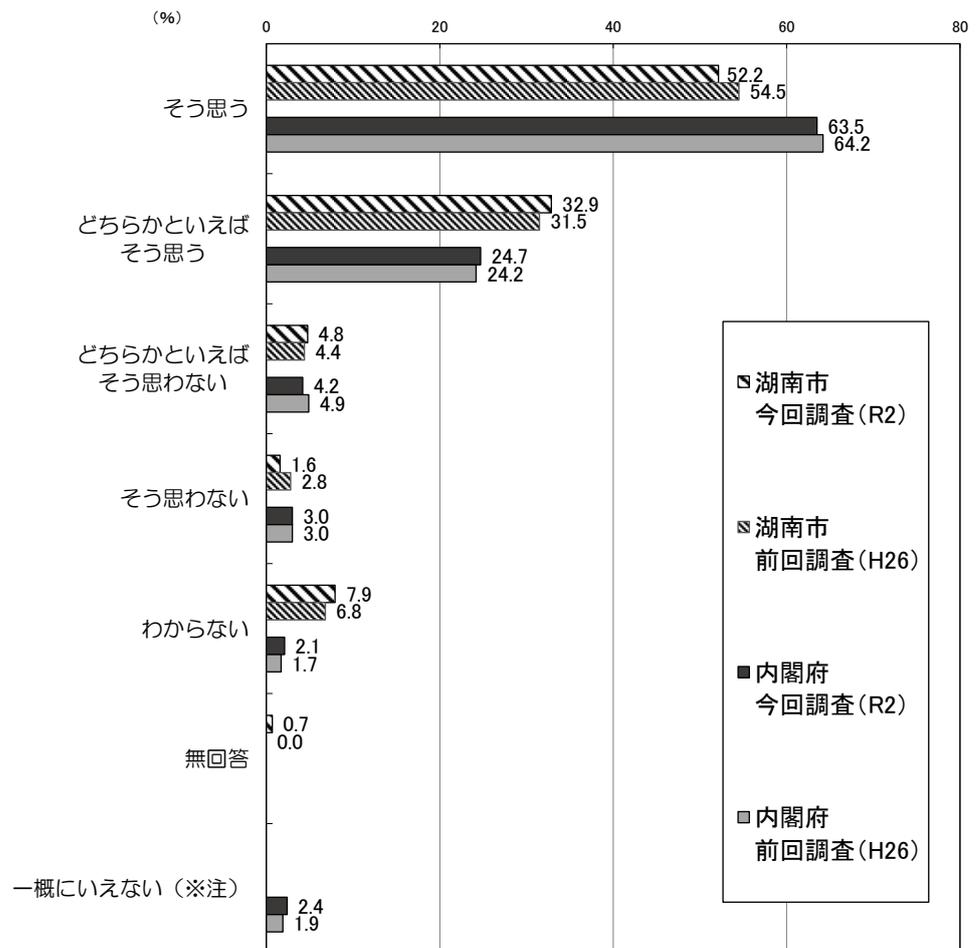
湖南省をはじめ、国や地方公共団体では、「共生社会」の考え方に基づいて、障がいのある人もない人も共に生活できるための環境づくりを進めています。あなたは、この「障がいのある人が身近で普通に生活しているのが当たり前だ」という考え方について、どう思いますか。

今回調査（R2）全体数＝441

前回調査（H26）全体数＝498

#### 【前回調査との比較】

「そう思う」と答えた人の割合は、湖南省の調査においても内閣府の調査においても減り、「どちらかといえばそう思う」で増えています。



資料：平成29年度 内閣府世論調査

資料：平成24年度 内閣府世論調査

※注：内閣府のみ

## 2. 障がい者とのふれあいについて

### 問 14 自分の地域に災害時要支援者がいるのを知っているか (1つだけ選択)

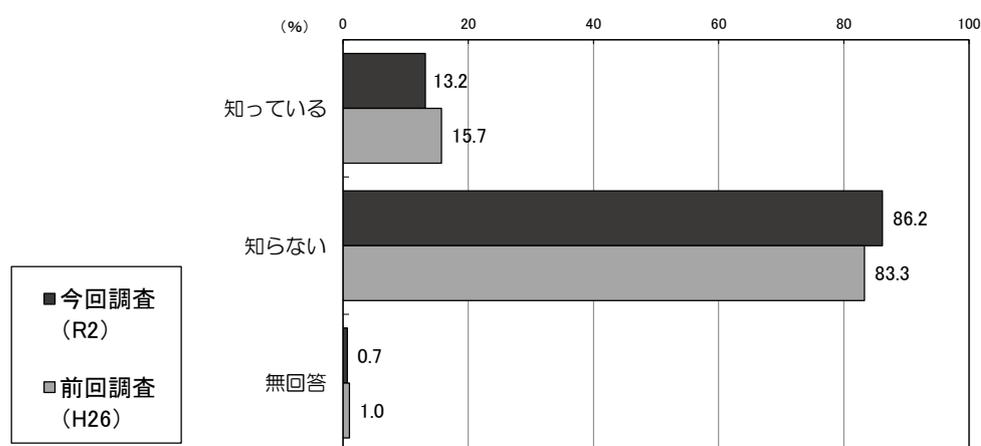
湖南省では、災害時に一人で避難することが困難な人を災害時要支援者と位置づけ、個別支援計画を策定するなどの対策を進めています。あなたは、ご自分の地域に災害時要支援者がいるのを知っていますか。

今回調査 (R2) 全体数=441

前回調査 (H26) 全体数=498

#### 【前回調査との比較】

「知らない」と答えた人の割合は、前回と比較して 2.9 ポイント高くなっています。



### 問 15 障害者虐待防止法を知っているか (1つだけ選択)

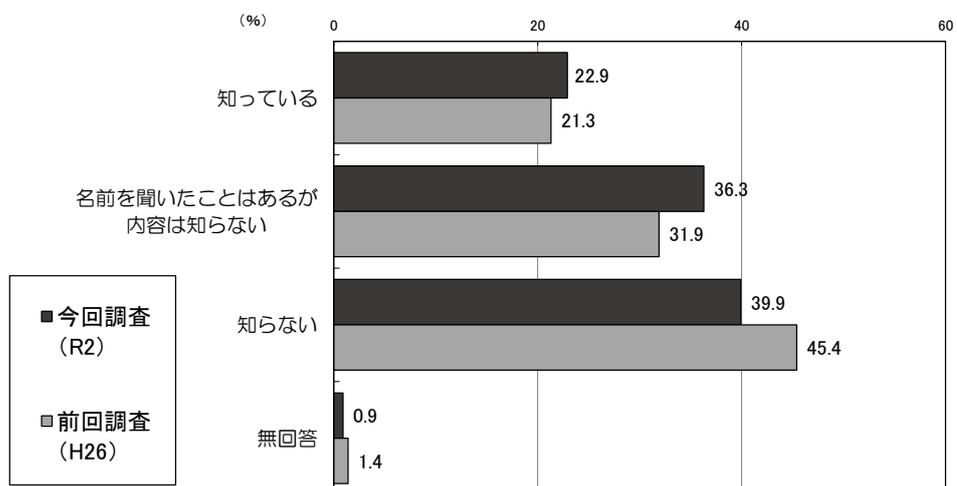
あなたは「障害者虐待防止法」を知っていますか。

今回調査 (R2) 全体数=441

前回調査 (H26) 全体数=498

#### 【前回調査との比較】

「知らない」と答えた人の割合は、5.5 ポイント低くなっています。また、「名前を聞いたことはあるが内容は知らない」と答えた人の割合は、4.4 ポイント高くなっています。



## 問 18 障がい福祉のボランティアに参加しているか (1つだけ選択)

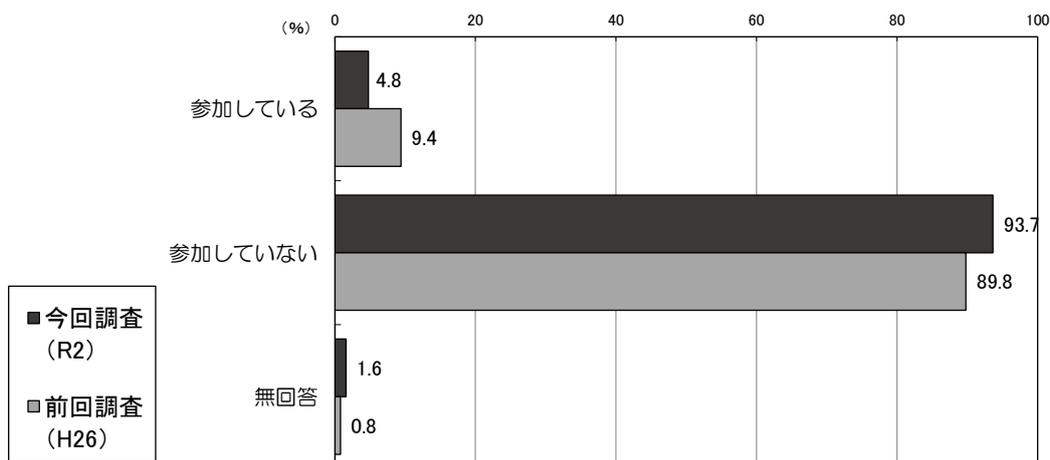
あなたは、障がい者福祉に関するボランティア活動に参加していますか。

今回調査 (R2) 全体数=441

前回調査 (H26) 全体数=498

### 【前回調査との比較】

ボランティア活動に「参加している」と答えた人の割合は、4.6ポイント低くなっています。



## 問 19 障がいのある人のために、何かの協力や活動参加をしたいか (1つだけ選択)

あなたは、障がいのある人が安心して暮らしたり、積極的に社会参加を行うために、何かの協力や活動への参加をしたいと思いませんか。

今回調査 (R2) 全体数=441

前回調査 (H26) 全体数=498

### 【前回調査との比較】

「ぜひ協力・参加したい」と答えた人の割合は、2.7ポイント低くなっています。

